学校番号	1016

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習 A	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「新演習　現代文アチーブ２　四訂版」（桐原書店）						
副教材等	パスポート国語必携　五訂版　（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・受験対策を意識して、様々な文章に触れ、長文読解能力を身につけよう。
・語彙力を身につけて、実生活に活かそう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の 担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活を充実させるために必要な基礎的な国語の知識や技能について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や表現力を磨き、自らの思いを互いに伝え合う基礎的な力を身につけようとしている。	言葉がもつ価値に気づき、思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付けようとしているとともに、国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎力を伸ばそう ［教材］「現代文アチーブ２」 ・待つことなく待つ？ ・商店街が遠ざかる ・花より団子か、団子より花か ・時の筏 ・道徳を問いなおす ・案内者 ・阿弥陀堂だより ・草の戸も住替る代ぞ ・どくとるマンボウ青春記 ・コミュニティとしての医療	ａ： 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 ｂ［話/聞］：自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。 ｃ：今回の学習内容を積極的に社会生活で活用しようとしている。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク
2学期	基礎力を充実させよう ［教材］「現代文アチーブ２」 ・遊びと生きがい ・時間と自由の関係について ・胡桃割り ・欠乏する文化と氾濫するコミュニケーション ・はじめに言葉ありき ・おぎん ・恋愛論 ・翻訳をめぐる七つの非現実的な断章 ・姉と妹 ・東の音・西の音	ａ：言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 ｂ［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫すること。 c 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク
3学期	発展的な力を身につけよう ［教材］「現代文アチーブ２」 ・「ばらばら」の巻 ・猫と暮らす ・母語の外へ出る旅 ・若い詩人の肖像 ・見ることと聞くこと ・琥珀の心 ・忘却の河 ・対話としての哲学＋意味の構造 ・歌う国民 ・メディア環境としてのディズニーランド ・野菊の墓＋書簡	ａ：主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握すること。 ｃ：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　１０　）時間